

オーストラリア学会報

Australian Studies Association of Japan

第64号

2012年2月15日

<http://www.soc.nii.ac.jp/asaj/index.html>

1. オーストラリア学会編集委員会よりお知らせ：

12月11日開催の理事会で、次の2点が承認されました。

1) 『オーストラリア研究』について第26号より「研究ノート」という種別を設ける。

2) 国立情報学研究所サイトCiNiiで『オーストラリア研究』のバックナンバーを電子化し公開する。(以降、最新号は1年後に公開とする。)

1) については、投稿規程を修正し近日学会サイトに掲載しますのでそちらをご覧ください。2) については、これまでの執筆者の方に、それぞれ電子化についての許諾確認を行います。その際、電子化を希望しない場合はその旨をご連絡下さい。正規手続きとしては基本的に文書の郵送やり取りになります。なるべく新しいものを優先に考えていますので、ご連絡時期に差が出ることをご了承下さい。この確認期間は、通知郵送後およそ6カ月を予定しています。

2. オーストラリア学会 2012 年度総会・全国研究大会 概要

<統一テーマ：3.11 後のオーストラリアと日本の協力関係>

日時：6月9日(土)・10日(日)

会場：大阪大学・豊中キャンパス(〒560-0043 豊中市待兼山町1-31)

<http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/ja/access/> <http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/toyonaka.html>

※9日(土)に理事会開催予定

担当：松繁 寿和(大阪大学)

□第1日目 6月9日(土) 13:00~

シンポジウム1「豪日戦略的パートナーシップにおける成果と課題 - 5年目の検証と将来展望」(仮題)

司会 星野俊也(国際関係論・大阪大学) 報告者 杉山晋輔(外務省アジア大洋州局長) 他

コロキウム「若者がみたオーストラリアと日本」(仮題)

司会 松繁寿和(労働経済学・大阪大学) 討論者 大阪大学留学生、天王寺高校生徒等
懇親会

□第2日目 6月10日(日)

午前：一般個別研究報告

午後：

理事会・総会

特別講演 Anne Collett(ポストコロニアル文学・東京大学/ウロンゴン大学)

“Post 3.11” Issues (T.B.A.)

シンポジウム2「非伝統的安全保障分野における豪日協力の将来」(仮題)

司会 佐藤治子(国際関係論・大阪大学)

報告者 William T. Tow(国際関係論・オーストラリア国立大学) 他

※プログラムは変更される可能性があります。詳細は会報次号にてお知らせいたします。



Australian Government



豪日交流基金
Australia-Japan FOUNDATION

3. 第 8 期 第 4 回 理事会報告

日時：2011 年 12 月 11 日（日）午後 1 時～午後 5 時

場所：同志社大学（今出川キャンパス）ハリス理化学館 2 階会議室

【報告事項】

1. 鈴木総務担当理事から、ACNet 事務局移転について、また第 3 回理事会以降の事務局ならびに運営委員会の報告があった。
2. 永野企画担当理事から地域研究会・AJF 事業関係の報告があった。
3. 藤川編集担当理事から、学会誌 25 号の編集状況が報告された。
4. 川口会計担当理事から、11 月 8 日現在の会費納入状況（69.7%）ならび会計報告があった。
5. 飯笹理事から、9 月に行われたカナダ学会との共同シンポジウムについて報告があり、今後本学会としても同様な事業を企画してはどうかとの提案があった。
6. 有満代表理事から、学会の新事業として学会 25 周年記念へ向けて、2012 年度科研申請を行ったとの報告と概要説明があった

【議 題】

1. 松繁理事から 2012 年大会（6 月 9・10 日、大阪大学）について説明があり、承認された。また大会運営委員会（開催校から松繁理事、全国研究大会担当理事、企画担当副代表理事、総務担当理事）を置き、準備を進めることが承認された。
2. 新規会員の加入申請手続きについて、これまでの年 2 回の理事会承認事項から、ACnet 事務局経由で持ち回り審議による適時に行うこととし、みなし退会者の復帰については、未納年度会費分を納めなければならないとすることとした。
3. 加藤編集担当理事から、①学会誌の投稿内容を「論文」「書評」に加えて「研究ノート」を新設すること及びそれによる投稿要領の一部変更と、②国立情報学研究所サイト（CiNii）への学会誌電子公開化について提案があり、審議の結果①を承認、②については最新号のみ 1 年間非公開、それ以外を順次公開できるようにし、課金制はとらないこととした。また過去の掲載論文については準備ができ次第著者の許諾を取る作業を進めることになった。
4. 川口会計理事から資料に基づき、現在の理事会開催による交通費補助（開催地から遠方の場合 1 万円支給）について改正案が示され、質疑応答があり、原案を承認した。
5. 小林 HP 担当理事から、2012 年度 4 月以降 HP の制作ならびにレンタルサーバーは ACNet に委託することが提案され、承認された。
6. 塩原広報担当理事から、会報 64 号目次案が提案され、了承された。
7. 追手門学院大学オーストラリア研究所から 2012 年 2 月 25 日開催の「西オーストラリアー日本交流史」翻訳出版記念シンポジウム、及び 3 月 17 日開催のセミナー「オーストラリアのエネルギー問題と日豪関係」についての紹介および、後者について本学会との共催の申し出があり、これを了承した。
8. 会則検討委員会（関根委員長）から、学会規約改正案の説明があり、審議された。修正および審議未了の箇所については、持ち回り審議とし、2012 年度総会へ提出する日程が了承された。
9. 学会誌のバックナンバー頒布および定期購読を行うことが再確認された。
10. 新規入会者 5 名、退会者 2 名を承認した。

出席者＝有満保江（代表理事）、飯笹佐代子、加賀爪優、加藤めぐみ、川口章、小林信一、塩原良和、鈴木雄雅、田澤佳昭、永野隆行、藤川隆男、松繁寿和、南出眞助、（以上理事、50 音順）、関根政美（監事）、委任状 5 名。

2010 年 12 月～2013 年 12 月役員一覧

[代表理事] 有満保江	[副代表理事（編集）] 加藤めぐみ
[副代表理事（総務）] 鈴木雄雅	[学会誌担当理事] 飯笹佐代子、川口章、 藤川隆男、安田純子
[会計担当理事] 川口章	[HP 担当理事] 小林信一、鈴木雄雅
[広報・会報担当理事] 塩原良和	
[副代表理事（企画）] 永野隆行	
[全国研究大会担当理事] 塩原良和、田澤佳昭	[監事] 関根政美、谷内達
[プロジェクト担当理事] 鎌田真弓、松繁寿和、 福嶋輝彦、村上雄一	
[関東例会担当理事] 塩原良和、橋本雄太郎	
[関西例会担当理事] 加賀爪優、南出眞助	

4. 第14回地域研究会（関西例会）のお知らせ

*事前申込不要。非会員の方も参加できます

<テーマ：オーストラリアのエネルギー政策と日豪関係>

日時：2012年3月17日（土）14：00～17：15

場所：追手門学院大学 5号館 5301 教室（同時通訳あり）

交通：JR 茨木駅西口から南へ徒歩7分「イオン茨木ショッピングセンター」横、または阪急茨木市駅西口すぐから追手門学院スクールバス（13：10 発）をご利用下さい。

【報告1】「西オーストラリア州の地域的・国際的エネルギー政策課題」ミシェル・ロサーノ（カーティン大学准教授・環境工学）

【報告2】「日豪のエネルギー市場とCO2排出権取引の可能性」ロナルド・リップル（カーティン大学教授・エネルギー問題）

【報告3】「バイオ・エネルギーの課題と展望」加賀爪優（京都大学大学院農学研究科教授・農業経済学）

【総合討論】座長：有吉宏之（追手門学院大学）

追手門学院大学オーストラリア研究所主催、オーストラリア学会共催、豪日交流基金協力

連絡先：追手門学院大学 オーストラリア研究所（大阪府茨木市西安威 2-1-15）TEL：072-641-9667

FAX：072-643-9476 Email：cas@office.otemon.ac.jp ホームページ：http://www.otemon.ac.jp/cas/

【参考】追手門学院大学オーストラリア研究所主催『西オーストラリア—日本交流史』日本語版《出版記念シンポジウム》 日時：2012年2月25日（土）13:00～17:00 場所：追手門学院大学 5号館 5301 教室（同時通訳あり）※12：15 発スクールバスをご利用下さい。

【報告者】「西オーストラリア—日本交流史：歴史学者の視点から」デイビッド・ブラック（カーティン大学名誉教授）、「西オーストラリアの邦人女性」曾根幸子（西オーストラリア大学上級名誉研究員）、「日豪文学にみるオーストラリアの移民社会」有満保江（同志社大学教授）、「日本とオーストラリアとの鉄鉱石貿易の歴史」須賀川誠（Mitsui Iron Ore Development 社顧問）、「西オーストラリア州と兵庫県との姉妹交流豪日交流」グレイグ・ピーコック（西オーストラリア州政府駐日代表） 連絡先は同上

5. オーストラリア学会・日本カナダ学会 共催／豪日交流基金（AJF）助成 公開シンポジウム

「多文化主義のゆくえ：加豪比較」報告

飯笹佐代子

2011年9月18日、日本カナダ学会の第36回年次研究大会の特別セッションとして、標記シンポジウムが大阪学院大学にて開催されました。2つの地域研究学会の交流を通じて、カナダとオーストラリアの比較研究をより進展させることを目的に、両学会による初の合同企画として実現したものです。飯野正子教授（津田塾大学学長・カナダ学会元会長）のコーディネートののもと、Kee Pookong 教授（メルボルン大学）が主にアジア移民に着目して豪多文化主義の軌跡を論じ、関根政美教授（慶應義塾大学）が多文化主義の変容について、先日のノルウェイでのテロ事件とも関連づけながら考察しました。一方、佐藤信行教授（中央大学・カナダ学会副会長）は、カナダ多文化主義が法的根拠を持つがゆえの課題に光を当て、また、コメンテータの Stewart Gill 教授（クィーンズランド大学・International Council of Canadian Studies 役員）は、インターネットをはじめとする情報のグローバル化が多文化主義に与える影響に言及しました。100名近くの参加者を得て、フロアからも続々と意見が寄せられ、活発な議論が展開されました。多文化主義をめぐる両国の文脈を超えた同時代的な共通性とともに、固有の問題性への認識を新たにすることができた、有意義なセッションとなりました。

6. 第13回地域研究会（関西）報告

南出眞助

2011年12月10日（土）14：00～17：00 に、追手門学院大学において「職業教育・学校教育と多文化主義」のテーマのもとに行われました。松井夏美氏（京都府立大学大学院博士前期課程修了）による「オーストラリアにおける成人の職業教育／訓練制度の現状と課題—シドニー市における TAFE およびコミュニティ・カレッジを中心に—」は、オーストラリアの成人職業教育・訓練制度の、制度上の特徴を詳細に分析し、TAFE（技術継続教育施設）などの現状と問題点を指摘した実証的な発表でした。馬淵仁氏（大阪女学院大学）による「教育現場と多文化主義—オーストラリアの事例を中心として—」は、長年にわたる多文化教育の経験から、他国の例も引用しつつ、多文化とは何かという根源的な問いかけに迫る発表でした。参加者30名。「教育」に幅広く関心を持つ参加者を得ることができました。懇親会には、同日午前中に同大学で行われた公開セミナー「オーストラリアにおける特別支援教育と障がい者の職業訓練」の発表者クリスティーナ・ヴァン・クライノード氏（クィーンズランド大学）も加わり、有意義な情報交換の場となりました。

7. 第4回地域研究会（関東）報告

塩原良和

2011年12月17日（土）に慶應義塾大学にて行われた第4回関東例会では、「オーストラリア観光の社会学—ケアンズを事例として」というテーマのもと、藤岡伸明さん（一橋大学大学院博士課程）、小野塚和人さん（同）という2名の若手研究者が報告してくれました。藤岡さんは、オーストラリアにおける日本人ワーキングホリデー渡航者の労働・生活実態についての詳細なフィールドワークに基づく貴重なデータを提示されました。また小野塚さんは、ケアンズをはじめとするオーストラリア北部における社会変動を理論的に読み解こうとする意欲的な試みを披露してくださいました。またこのおふたりには、今回の例会の企画立案にも積極的に参画していただきました。今後も関東例会で若手会員が企画を積極的に提案し、当学会の活動に刺激を与えてくださることを願っています。

8. 「オーストラリア研究のためのリファレンスサイト」の公開について

追手門学院大学附属図書館オーストラリア・ライブラリーでは、オーストラリア学会の協力と豪日交流基金の助成を得て進めてきた「オーストラリア研究のためのリファレンスサイト」が完成し、2012年2月1日より一般公開しています。このサイトは、これからオーストラリアについて学ぼうとする学生や、オーストラリアに関心を持つ一般社会人を主な対象として、基本的なサイトを日本語で紹介するものです。人文・社会科学系の12分野について、オーストラリア学会理事を中心とした著名な研究者による内容紹介もあります。ぜひ一度はアクセスしていただき、ご意見を追手門学院大学附属図書館までお寄せください。内容に誤りがあれば逐次訂正いたします。

*下記のオーストラリア・ライブラリーHPのバナーからご利用いただけます。

http://www.oullib.otemon.ac.jp/aus/aus_index.html

9. 『オーストラリア研究』投稿募集および研究文献目録掲載のお知らせ

『オーストラリア研究』に掲載する論文を募集しています。投稿はいつでも受け付けておりますが、次号25号に掲載する論文の投稿は昨年8月末日で締め切りましたので、掲載は26号以降になります。詳細は、学会Webサイトもしくは25号掲載予定の「投稿要領」（2009年7月12日一部改定）をご覧ください。

また第12号以降、会員の研究文献目録を継続して掲載しております。引き続き会員の協力をお願いします。発表された著書、論文、報告書、翻訳などのなかから、オーストラリア学会の趣旨に関係する目録未掲載の研究文献を選び、お知らせください。締め切りは2012年10月30日（期日厳守）。編集作業の都合上、電子メール（またはテキストファイルを含んだFD）をご利用ください。記入例はバックナンバーを参照し、掲載書式に必ず準ずる形でお送りください。

投稿先：〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2日本財団ビル 特定非営利活動法人CANPANセンター
ACNet事務局「オーストラリア学会」担当
TEL：03-6229-5104/FAX：03-6229-5116 E-mail ac056-asaj@canpan.org

新刊書のご案内

◎藤川隆男著『人種差別の世界史—白人性とは何か？』刀水書房、2011年7月（四六判274頁 定価5,985円 +税 ISBN：978-4-88708-398-1）

出版社ウェブサイトより：時代と共に変化する人間社会・白人性の概念・差別意識などについて、身の回りの差別から始め、世界史の事まで考える (<http://www.tousuishobou.com/rekisizensho/4-88708-398-1.htm>)。

【諸届出／連絡先】

〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2日本財団ビル 特定非営利活動法人CANPANセンター
ACNet事務局「オーストラリア学会」担当
TEL：03-6229-5104/FAX：03-6229-5116 E-mail ac056-asaj@canpan.org

【オーストラリア学会事務局】

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学文学部新聞学科内 鈴木雄雅研究室気付
電話 03-3238-3983 FAX 03-3238-3094 Email: HAF00025@nifty.ne.jp
会費振込先：00190-3-157063 加入口座名：オーストラリア学会

※本会報は学会記録以外に、会員のご意見やご要望を掲載します。意見、著書、新刊、訳書、投稿など、ACNet事務局担当までお送りください。なお紙面の制約上、掲載できない場合がありますことをご了承ください。
[編集担当：塩原良和（慶應義塾大学）]